

2. プレママ・プレパパ・乳児の保護者編

④ いつになったら泣きやむの？

《ねらい》

- 愛着行動の一つである子どもの「泣き」について理解する。

《準備物》

- ファシリテータ：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 子どもは「泣くのが仕事」とは言いますが、実際に泣かれると困ってしまいますよね。今日は皆さんで、お子さんが泣いた時の対応について情報交流してみましょう。 その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照 ・子どもの名前と由来	・子どもの名前を書いてもらう。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6参照	
展開 (35)	15	4. 子どもの「泣き」への対応を記入する。 (ワーク1)	4. 子どもが泣きやまず、困った経験とその時の対応、子どもの反応を ワーク1 に記入してください。	・寝る時、食事の時、外出の時など、困った時の状況の例を紹介する。 ・すべての枠に記入しなくてもよい。
	10	5. グループで一人ずつ発表する。 (ワーク2)	5. グループで順番に発表してください。 発表を聞きながら気づいたことがあれば ワーク2 に記入しましょう。	・参考になった対応、他の人にも伝えたい対応の理由を全体への発表時に説明するように伝えておく。
	10	6. 参考にしたい例があれば発表してもらおう。	6. 参考になることがあれば皆さんに教えてあげてください。	
まとめ (15)	5	7. ふりかえり	7. このワークをふりかえって、気づいたこと、感じたことをワークシートにまとめましょう。	
	10	8. まとめ いかがでしたか。今日は、子どもの「泣き」への対応から、子育てへの姿勢を話し合っただけではありません。皆さんの話合いの様子から、その子にあった対応をしていらっしゃるのことが分かりました。みなさん子育てをがんばっておられますね。「泣き」は子どもの愛着行動の一つで、親がしっかり応えてあげることで愛着形成につながります。理由が分からなくてイライラすることもありますが、おらかな気持ちで接しましょう。		

④ いつになったら泣きやむの？

子どもが泣いたとき、イライラすることも多いと思います。泣きやませるための対応……。でも、これで本当にいいのかなと迷うことも多いと思います。この機会に子どもが泣いたときの自分の対応について考え、話し合ってみましょう。



お子さんのお名前「

」

ワーク1

どんな時に泣かれて困りましたか？	どのような対応をしましたか？	その対応にお子さんは？

ワーク2 メンバーの意見を聞いて気づいたこと感じたことをメモしましょう。

ふりかえり

